

第22回白馬村地域公共交通会議 会議概要

招集年月日	平成30年11月12日(月)
招集の場所	白馬村役場201・202会議室
開催時間	午前10時30分～12時00分

■委員

白馬村 村長	下川 正剛	○
学識経験者	高瀬 達夫	*
長野県 企画振興部 交通政策課長	※代理出席 宮島 克夫	○
長野県 北アルプス地域振興局長	※代理出席 中村 正人	○
長野県 大町建設事務所長	清水 孝二	○
長野県 大町警察署 白馬村交番所長	小林 正之	欠
アルピコ交通株式会社 白馬営業所長	津山 健次	○
アルプス第一交通株式会社 代表取締役	上條 良民	○
アルピコタクシー株式会社 大町支社長	薄井 浩章	○
白馬観光タクシー 株式会社	風間 雅裕	○
公益社団法人 長野県バス協会	松井 道夫	欠
長野県タクシー協会	耳塚 喜門	○
公募委員	速水 政文	○
公募委員	田代 雅子	○
国土交通省北陸信越運輸局交通政策部交通企画課長※代理出席	井藤 太亮	○
国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局長 ※代理出席	高山 和良	○
y 8		
アルピコ労働組合川中島バス支部	花岡 康史	○
信州アルピコタクシー労働組合	種山 稔	○
一般社団法人白馬村観光局 事務局長	福島 洋次郎	欠
白馬村役場 観光課 課長	横山 秋一	○
白馬村役場 健康福祉課 課長	松澤 忠明	○

■事務局

白馬村 総務課長	吉田 久夫	○
白馬村 総務課 政策企画係長	矢口 浩樹	○
白馬村 総務課	渡邊 宏	○

■オブザーバー

白馬村役場観光課観光商工係長	長澤 肇	○
白馬村健康福祉課課長補佐	太田 雄介	○

## 1. 開会

〈風間副会長〉

## 2. 会長あいさつ（村長）

皆様こんにちは。本日はそれぞれお忙しい中、第22回白馬村地域公共交通会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

最近、日ごと朝晩の冷え込みが厳しくなり、間近にウインターシーズンを感じさせる季節となって参りました。今年は順調な降雪を期待し、多くのお客様に白馬の冬を楽しんでいただけるよう、万全の準備を進めたいと考えているところであります。

現在、地域公共交通網形成計画策定に向け検討委員会を立ち上げ議論を進めています。この検討委員会では、これからのまちづくりを考慮し、まちづくりと連携した面的な公共交通ネットワークを再構築するとともに、地域の足を維持・確保していくための具体的な方策を検討しており、現在まで2回の検討委員会が開催されました。

今年度中に計画を策定する予定でありますので、引き続き委員の皆さんのご指導をよろしくお願いいたします。

さて、本日の会議は、デマンド型乗合タクシー関係の報告と、ナイトシャトルバスの運行計画についてご協議いただきたくご参集いただきました。

デマンドタクシー、ナイトシャトルバスにつきましては、白馬村の主要な交通施策として定着してきております。今後とも利用者の皆様に愛されるタクシーバス事業を継続して運行していくためには、様々な課題を検討、改善していく必要がございます。

本日は活発なご議論をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 3. 報告事項

➤資料1を健康福祉課太田課長補佐が説明

○デマンド型乗合タクシーについて29年度の報告があったが、30年度の検討する内容について、今年度もう一度開催する予定はあるか。

➤現在、来年度に向け根拠容を検討委員会で議論をしている。案が決まったら開催をする予定である。

○平成 28 年度と比べ冬の利用実績が増えてきているということであるが、11 月までは減少している。原因や分析はされているか。

➤ヒアリングは行っていないため、予想であるが冬以外は自分で運転ができたり、家族の送迎が可能であったりするが、冬の路面状況ではそれが難しいといった要因も一つ考えられる。ただ、30 度は逆に利用実績が上がっているので、正直よくわからない。

○デマンドタクシーの登録者の要件として、年齢を下げた経緯と今後まだ下げる予定はあるか。

➤過去に一度変更をしている。当初は 65 歳以上でスタートしたが、23 年度に引き下げた。今後は担当課としては移動制約者、高齢者の足の確保という視点からは変更を考えていないが、村全体で考えた時に、デマンドタクシーの果たす役割が大きくなれば考える必要がある。

○利用対象者で、付添い人も登録が必要か。また、付添い人が白馬に住民登録がない場合利用は可能か。

➤利用の登録は必要ない。要綱上は、住所用件は必要となる。

○アンケート結果から土日の運行希望は少ないが、要望があるので料金の増額をする等により、土日の運行をしてほしい。

➤土日の外出の希望者はいる。土日の外出者の足の確保は何らかの形で行いたいと考えている。料金の値上げについては担当課としては考えていない。

○付添い人の住所用件の確認はしているのか。

➤確認はしていない。要綱と現場では逆行があるため変更を考えたい。

#### 4. 協議事項

##### (1) 平成30年度ナイトシャトルバス運行計画（案）

➤資料2により観光課長澤係長が説明

○ナイトシャトルバスは一般の方は利用しづらいという話を聞いているが、観光交通システム検討委員会では一般の方の利用について検討されているのか。

➤検討委員会の中では、一般客の利用は増えないという話がでた。利用形態が違うため、むしろ外国人の2次交通に力を入れるべきだという話になった。

○運行計画案にある利用促進計画について、昨年度と変更点はあるか。

➤変更はない。

##### (2) 平成30年度予算（案）

➤資料3を総務課矢口係長が説明

#### 5. その他

○冬期間のタクシーが不足しているということで、本年度から「北アルプス安曇野圏」ということで交通圏を広げた。駐車場所が課題であるため、現在ベースキャンプと交渉中である。課題解消に向け努力をしていくので、引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

➤村としても飲食店も含め、元気号をうまく活用していただきたいと考えている。エッセンシャルガイドの作成時期を早めたり、増刷したり、告知面でさらに強化をしていきたい。

#### 6. 閉会

〈風間副会長〉

11時55分終了